

大規模災害などで流出した橋梁を短期間で復旧！

沖縄総合事務局、応急組立橋を配備します！！

沖縄総合事務局開発建設部は、大規模災害時に失われた交通機能の早期復旧を目指すため、^{とみぐすくしかねら}豊見城市金良地先へ令和7年3月14日(金)に、応急組立橋(1 橋:50m級)を配備することをお知らせいたします。

【整備目的】

近年、全国的に大規模地震や風水害など、大規模化・甚大化する自然災害による、道路の損傷や橋流出などの被害も報告されていることから、迂回路や被災橋梁の代替となる応急組立橋を配備し、災害時における道路交通の早期復旧に備える。

【概要】

沖縄総合事務局開発建設部では、これまでに北部国道事務所管内に 2 橋(30m級、50m級)を配備しており、今回新たに南部国道事務所管内に 1 橋(50m級)を配備、合計 3 橋保有する事になります。災害時における道路交通の確保に用いる災害対策用の組立橋となっており、その用途は以下のとおりです。

- 交通上特に重要な道路の応急復旧
- 被災地への救援物資や復旧資材の輸送に必要な仮設道路
- その他、緊急の実施が必要な災害応急復旧
- 地方公共団体からの要請対応

※令和7年度上半期には、沖縄県建設業協会と協働で、「応急組立橋組立訓練」も予定しており、その際もお知らせ致します。

【問い合わせ先】

内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部

道路管理課

課長 ^{とくやま ゆういち} 渡久山 雄一

課長補佐 ^{みやぎ はやと} 宮城 勇仁

電話 : 098-866-0031(代表)



お う きゅう く み た て きょう 応 急 組 立 橋

ワーレントラス橋
車道：L 50m × W 4m
歩道：L 50m × W 1.5m

●令和6年8月、岡山県瀬野町にて、台風7号による大雨で橋梁が被災時に活用事例



提供：中国地方整備局

【目 的】

近年、全国的に大規模地震や風水害など、大規模化・甚大化する自然災害による、道路の損傷や橋流出などの被害も報告されていることから、迂回路や被災橋梁の代替となる応急組立橋を配備し、災害時における道路交通の早期復旧に備える。

【概 要】

沖縄総合事務局開発建設部では、北部国道事務所管内に2橋（30m級、50m級）を配備しており、今回新たに南部国道事務所管内に1橋（50m級）を配備、合計3橋保有する事になります。

●応急組立橋諸元

導入年度	令和7年度
形 式	本 橋：組立式ボニーワーレントラス橋 取付桁：鉸桁橋
支 間	本 橋：50m 取付桁：2×14m（上下線分）
桁 高	2.0m
道路規格	第3種 第2級
幅員構成	車道：1×4.0=4.0m 歩道1×1.5=1.5m
計画荷重	B 括荷重

